



# 原子力産業新聞

2012年9月27日  
 平成24年(第2640号)  
 毎週木曜日発行  
 購読料1年分前金(消費税、国内送料込)  
 会員 9,500円(1部220円)  
 非会員 15,000円(1部350円)  
 (当会会員は年会費13万円に本紙購読料の9,500円を含む。1口1部)

発行所 日本原子力産業協会

〒105-8605 東京都港区虎ノ門1丁目2番8号 虎ノ門琴平タワー9階 郵便振替 00150-5-5895  
 電話 03(6812)7103 FAX03(6812)7110 ホームページ <http://www.jaif.or.jp/> メールアドレス [shinbun@jaif.or.jp](mailto:shinbun@jaif.or.jp)

昭和31年3月12日第三種郵便物認可

## 「年末までに考えを示す」

### 今後の原子力政策のあり方 原子力委の役割、混沌

二十五日の原子力委員会、政府が決めた革新的エネルギー・環境戦略を内閣官房の担当者が説明した。同戦略には、新たな原子力政策をエネルギー・環境会議の場を中心として確立する方針が示され、原子力委員会についても、廃止・改組も含めて抜本的に見直すと、その内容の通りではない。この他のことは、何も決まっていないうと説明し、今後、政策は検証しながら、不断に見直していく方針となっている」と述べるにとどまった。

近藤駿介委員長は、委員の任期が実質的に切れ、原子力政策のあり方、策大綱と日本学術会議からの高レベル放射性廃棄物の処分政策についての回答に対する対応について、「整理してポジティブな意見を出された。」

内閣官房の担当者は「書かれている内容の通りで、それ以上でもそれ以下でもない。この他のことは、何も決まっていない」と説明し、今後、政策は検証しながら、不断に見直していく方針となっている」と述べるにとどまった。

関係閣僚によるエネルギー・環境会議(議長古川元久・国家戦略相)が十四日に取りまとめた「革新的エネルギー・環境戦略」の記述の一部「政府は、以下の内容(同戦略)を盛り込んだ新たな原子力政策を、エネルギー・環境会議の場を中心として、確立する。な

### 野田首相が再選続投

#### 民主代表選 細野氏が政調会長

二十一日、都内のホテルで開かれた民主党代表選出大会で、野田佳彦首相(55)が再選された。赤松広隆・元農相(64)、原口一博・元総務相(53)、鹿野道彦・前農相(70)を



大差で破った。合計千二百八十八ポイントのうち八百十八ポイント(得票率約六八%)を獲得した。野田氏は投票前の演説で、「決めなければならぬときに、物事をきちっと決められる政治の実現をめざし、「働く人の元気を元気に掲げて、日本を元気にする」と訴えた。

民主党のエネルギー政策についても、一年半前には原子力発電を増やしてCO2削減をめざしていく方針だったが、「福島事故以来、状況は一変した」と述べ、野田政権が十九日に閣議決定した「今後のエネルギー・環境政策」について、「原発ゼロ社会を三〇年代に実現するべ

お、原子力委員会については、原子力の平和利用の確認などの機能に留意しつつ、そのあり方に関する検討の場を設け、組織の廃止・改組も含めて抜本的に見直す。」

### 防災対策指針、策定に着手

#### 規制委員会 自治体からも意見聴取

原子力規制委員会は、二十六日、「原子力災害対策指針」の策定に着手することを決定した。次回自治体等関係者からの意見聴取に入り、十月中にも考え方を取りまとめる。すでに施行が始まっている原子力規制改革関連

### 「拙速決定の中止を」

#### 福井県議会 経産相に要請書

福井県議会の吉田伊三議長らは二十四日、枝野幸男経済産業相を訪れ、政府が十四日に「三〇年代に原発稼働ゼロ」を掲げるエネルギー・環境戦略を決定したのを受け、立地地域として、信頼関係を大きく損ねるなど、遺憾の意を表明し、「拙速な原子力政策決定の中止」を求める意見書を手渡した(以下写真、福井県提供)。意見書で

### 「原子力発電は引き続き重要な電源」

#### 青森県下北地区の原子力施設を立地する四市町村の首長、議会関係者ら

は、六月の大飯3、4号機の再稼働判断に伴う野田首相会見において、「原発は重要な電源」と表明されたにもかかわらず、新たなエネルギー戦略では、これが「一方的に転換」されたとしており、また、核燃料サイクルに関しても、「全体像を明らかにしないまま高速増殖炉実用化を断念」などとして、立地自治体への十分な説明のない方針変更とみて遺憾の意をあらわにしている。さらに、「原発ゼロ」により生じる電気料金高騰、雇用喪失、原子力人材確保への悪影響にも言及した上で、



経産相を訪れたむつ市、大間町、東通村、六ヶ所村には、それぞれ使用済み燃料中間貯蔵施設、大間発電所、東通発電所、核燃料サイクル施設が運転中または建設途中にあり、要請書では国策に対し協力を重ねてきた立地地域にとつて、方針の変更は「国への信頼を大きく失墜」と訴えている。

### 「立場は変わるが、福島後押し」

#### 細野原首相

二十四日に民主党政策調査会長に内定した細野豪志・原発担当相(環境相)は、二十五日の閣議後記者会見で、「立場は変わるが、全体として福島

### この一週間の出来事

(20日(木)～26日(水))

- ・国連総会開幕、バイ会談も始まる(25日)
- ・火力環境アセス迅速化で連絡会設置(25日)
- ・自民党総裁に安倍元首相選出(26日)

### 原産新聞の紙面から

#### ◇国内ニュース

- ・原子力委に概算要求政策を説明(2面)
- ・電事連、電力の安全新組織を説明(2面)
- ・福島第一3号プールに瓦礫鉄骨落下(4面)
- ・「急拡大する中国の原子力」講演会(4面)

#### ◇海外ニュース

- ・トルコの計画、年内にメーカー選定へ(3面)
- ・スウェーデン事業者が原子力部門強化(3面)
- ・加のブルースA1、15年ぶりに再併入(3面)

What commitment looks like

We are leaders in centrifuge technology and enrichment services. Over four decades, we have nurtured and constantly improved them. We have also shown our commitment to maintaining an exemplary safety and security record. Our dedication to excellent service has enabled the URENCO Group to extend its global reach to the US. We now have four enrichment plants worldwide. By investing in the enrichment segment of the nuclear fuel supply chain we are fuelling the future – enabling the sustainable generation of electricity for consumers around the world.

[www.urencocom](http://www.urencocom)

